

公民連携で実現する医療的ケア児が 安心して暮らせる街づくり



東大阪市 × 株式会社ノーサイド



NO SIDE!

自己紹介（経歴）

中西良介です！生まれも育ちも大阪府東大阪市の44歳！！

- 平成16年 ヘルパーとして働き始める
- 平成23年 株式会社ノーサイド設立 代表取締役就任
- 平成29年 スペシャルキッズサポート振興協会設立 理事就任
- 令和元年 認定NPO法人ノーサイド設立 理事長就任
クリニックラウン「らが〜」としても活動
- 令和3年 FC大阪と共同で「ダイバーシティ推進本部設立」本部長就任
東大阪市と包括連携協定を締結（株式会社ノーサイド）
大阪府医療的ケア児等コーディネーター
- 令和4年 2025年大阪・関西万博「インクルーシブアドバイザー」就任
花園ラグビー場にD&Iカフェ「ひとつなぎカフェ」オープン
- 令和5年 永田町子ども未来会議参加（オブザーバー）

自己紹介（その他の役職）

- 東大阪自立支援協議会
（会全体会委員・運営委員会・教育と福祉の連携ファシリテーター）
- 東大阪市障がい児通所支援施設事業所連絡会 会長
- 東大阪市子ども子育て会議委員
- 社会福祉法人東大阪市社会福祉事業団（レピラ）理事
- 東大阪市医療的ケア児支援会議委員
- 大阪府教育委員会医療的ケア児会議委員

東大阪市と包括連携協定

株式会社ノーサイドと包括連携協定 を締結

東大阪市と株式会社ノーサイドは、令和3年11月15日に、(1)教育、(2)スポーツ・文化・産業、(3)防災・治安の3分野において、緊密な相互連携を図り、双方の資源を利用した事業に協働で取り組むことにより、市民サービスの向上と地域の活性化を目的とした包括連携協定を締結しました。



東大阪花園ラグビー場



公民連携で実現したこと

【東大阪市】

- ◆東大阪市障がい児通所支援施設事業所連絡会 平成25年4月～
- ◆全ての障がい児を対象に相談支援制度 平成27年4月～
- ★医療的ケア特別支援員活用事業 平成29年4月～
- ◆東大阪市医療的ケア児支援会議 平成31年4月～
- ★市立保育所医療的ケア児保育支援制度 令和5年4月～

【大阪府】

- ★府立支援学校医療的ケア児通学支援制度 令和2年9月～
- ◆大阪府教育委員会医療的ケア児有識者会議 令和4年4月～

公民連携で実現したこと（詳細①）

◆東大阪市障がい児通所支援施設事業所設連絡会 平成25年4月～

東大阪市内のすべての通所事業所・相談支援事業所と福祉部障がい児サービス課が連携し年2～3回の研修や制度の勉強会を開催

◆全ての障がい児を対象に相談支援制度 平成27年4月～

児から者へスムーズに移行可能にするため、福祉サービスを利用するすべての障がい児を対象に必ず相談支援員が寄り添い、福祉サービスを理解し、支援内容を一緒に考え、将来の生活を見通していけるようサポートしていく

公民連携で実現したこと（詳細②）

◆東大阪市医療的ケア児支援会議 平成31年4月～

東大阪市(子どもすこやか部・保育所長代表・福祉部・健康部・教育委員会・小中学校長代表)と医療的ケア児家族・医師・訪問看護事業所・通所支援施設事業所連絡会・相談支援事業所・福祉サービス事業所で医療的ケア児が地域において安心して生活できる環境や支援の整備について検討を行う会議

◆大阪府教育委員会医療的ケア児有識者会議 令和4年4月～

大阪府教育委員会と民間有識者(大学教授・医師・大阪府看護協会・大阪府訪問看護協会・福祉サービス事業所)で大阪府立支援学校・府立高校に在籍する医療的ケア児が安心して教育を受けれるよう環境や支援の整備について検討を行う会議

公民連携で実現したこと（詳細③）

★医療的ケア特別支援員活用事業 平成29年4月～

ケアアシスタント（看護師）を配置し市内公立小中学校に通う医療的ケア児に対し、看護師が体調不良や家庭の事情で急遽勤務できなくなった場合、民間の登録事業所と連携し事業所から看護師等に来てもらう取り組み

※看護師（等）なので普段からかかわりのある介護職員が学校へ行くことも可能

※各学校と事業所職員との個人契約が必要

★府立支援学校医療的ケア児通学支援制度 令和2年9月～

大阪府立支援学校・府立高校に在籍しているが、医療的ケア等の理由で通学バスに乗車できない生徒に対し、介護タクシー等を利用し看護師等が乗車して生徒を学校へ送迎する制度

※利用実績：令和2年度44名、令和3年度71名、令和4年度110名（利用対象者185名）

公民連携で実現したこと（詳細④）

★市立保育所医療的ケア児保育支援制度 令和4年4月～

市と看護師派遣が可能な事業所（訪問看護事業所や福祉サービス事業所など）と委託契約を結び、市が委託した事業所から医療的ケア児が在籍する園に対し、看護師を派遣し医療的ケアを行うことにより、保育施設の医療的ケア児の受け入れを支援し、医療的ケア児が住み慣れた地域で安心して生活できるように支援体制を整備するもの

今後取り組んでいくこと

◆医療的ケア児等コーディネーターの配置

令和6年4月設置予定

ノーサイドが取り組んできたこと

- ・ 居宅訪問型児童発達支援
- ・ 放課後等デイサービス
- ・ 児童発達支援
- ・ 居宅訪問
- ・ 重度訪問介護
- ・ 移動支援
- ・ 生活介護
- ・ 日中一時支援
- ・ 相談支援
- ・ 住宅型有料老人ホーム
- ・ 介護タクシー

ノーサイドが取り組んできたこと

【ダイバーシティ事業】

- ★公立小中学校で障がいについての授業
- ★スクラムオフィス(市役所内障がい者雇用)
- ★自家発電機完備福祉避難所 ※市内2か所
 - ・旅館「の一さいどの宿」
 - ・お風呂&リラクゼーション「ハチドリの湯」
- ★D&Iカフェ「ひとつなぎカフェ」

【子ども・家族支援】

- ・ノーサイドHAHA
- ・卒業旅行
- ・入院中でも使えるフリースペース

ノーサイドが取り組んできたこと

★公立小中学校で障がいについての授業 令和3年4月～

小中学校に行き、ボッチャを通じ障がいのある人の生活や困りごとや良かったこと等を学ぶ

※令和3年度は5,000名程の児童・生徒と授業を実施

★スクラムオフィス（市役所内障がい者雇用） 令和3年6月～

精神障がい・知的障がい者を会計年度職員として任用し、市職員の理解促進や障がい者雇用の促進を目的とする。福祉事業所がサポート職員に対し支援のアドバイスをし就労が継続できるようにサポート職員のサポートを行っている

ノーサイドが取り組んできたこと

★自家発電機完備福祉避難所 令和元年10月～

自家発電機・備蓄食料を完備し、東大阪市と連携して合理的な配慮可能な避難所として活用できるようにしている

★D&Iカフェ「ひとつなぎカフェ」 令和4年9月～

東大阪市のシンボリックな存在である「花園ラグビー場」メイン入口横にダイバーシティ&インクルージョンをテーマにしたカフェを設置し、障がいの有無や国籍、年代など関係なくたくさんの人が集うことのできる場所を開設

ノーサイド（メディア紹介）

ノーサイドの取り組みがテレビにて紹介されました



「アートを仕事に」



「医療的ケア児のサポート」



テレビ大阪「やさしいニュース」

ノーサイド（卒デイ式）



NO SIDE!

ノーサイド（ひとつなぎカフェ）



NO SIDE!

ノーサイド (2025年大阪・関西万博)



NO SIDE!

ノーサイド (のーさいどの宿)



NO SIDE!

ノーサイド (ハチドリの湯)



NO SIDE!

これから最も必要とされていることは？

- 人と人を繋げる「人」の役割を明確にする
- 医療的ケア児の周りを専門家でかためていませんか？
- 本当の多職種連携について考えていますか？
- 専門性を高め極めていく大切さ／かかわる人を増やす大切さ
どちらが重要でしょうか？
- かかわる人が増えることで子ども達やご家族達と社会を繋ぐことができます！

これから最も必要とされていることは？②

- ・自治体は「医療的ケアがあっても安心して暮らしていける街づくり」に取り組む
- ・自治体に医療的ケア児とその家族についてもっと理解していただく

困りごと・難しいこと・大変なことにはばかり目を奪われず
「どうすれば解決に近づくことができるのか」それぞれの自治体
が持っている力を「公」「民」関係なく知り、力を合わせていく
ことが安心して暮らせる街づくりの早道になるのではないで
しょうか？